

# (参考1) 今後の路網整備における路網区分及び役割について

## 林業専用道

○幹線となる林道を補完し、森林作業道と組み合わせることにより、森林作業道の機能を高め、木材輸送機能を強化・保管するもの

- ・主として特定の者が森林施業のために利用する恒久的公共施設
- ・10t積程度のトラックや林業用車両（大型ホイールフォワード等）の走行を想定
- ・必要最小限の規格・構造を有する丈夫で簡易な道

## 森林作業道

○導入する作業システムに対応し、森林整備の促進を図る

- ・特定の者が森林施業のために利用
- ・主として林業機械（2トン積程度の小型トラックを含む）の走行を想定
- ・集材等のために、より高密度な配置が必要となる道であり、作設に当たっては、経済性を確保しつつ丈夫で簡易な構造とすることが特に求められる

## 林道

○効率的な森林の整備、地域産業の振興等を図る

- ・原則として不特定多数の者が利用する恒久的公共施設
- ・セミトレーラーの車両の通行を想定
- ・一般車の通行も想定し安全施設を完備

施業の集約化  
(搬出間伐)

